

クボタ通信

第137期中間

2026.1.1-2026.6.30

NEW



WEB版クボタ通信を新たに作成しました!



動画や写真で、
より充実した内容をお届けします。
紙面版と合わせて是非ご覧ください。



株主の皆様へ ▶ WEB版クボタ通信では、 動画をご覧いただけます。

株主の皆様には格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

社長に就任してから半年が経ちました。この間、中東情勢、米国の関税影響や自然災害など不確実な情勢の変化が続いています。

クボタグループは、世界各地での人々の生活に欠かせない食料・水・環境分野における社会課題の解決を使命としており、その役割が一層求められています。

本年2月には、新たな中期経営計画2030 “Focus & Breakthrough” を策定いたしました。売上や利益の成長だけでなく、資本効率やキャッシュ創出力を重視する経営への転換を進めています。また、建設機械事業やインド発電事業、ライフサイクルサポート事業など、今後の成長をけん引する事業を加速するとともに、事業ポートフォリオの変革にも取り組んでいます。

今回発表いたしました第2四半期決算では、主要市場におけるマーケットの低迷という逆風にも関わらず、売上高は計画並みを確保し、利益は計画を超過、資本効率向上に向けた取り組みも着実に進展してきました。

株主の皆様と対話を重ねながら、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社クボタ
代表取締役社長 CEO

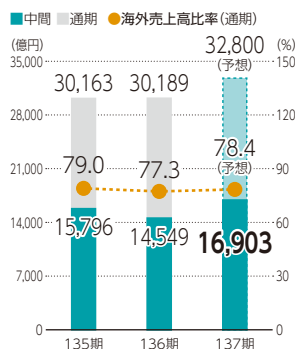
花田晋吾

第137期(2026年12月期) 中間連結業績

売上高

前年同期比 +16.2%

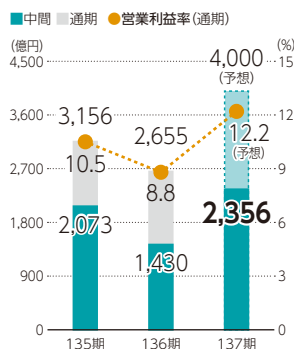
16,903億円



営業利益

前年同期比 +64.7%

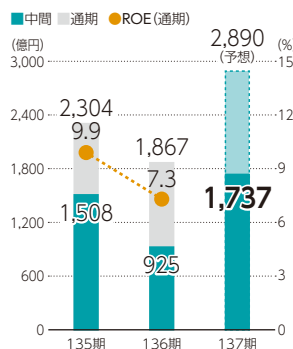
2,356億円



親会社の所有者に帰属する中間利益

前年同期比 +87.8%

1,737億円



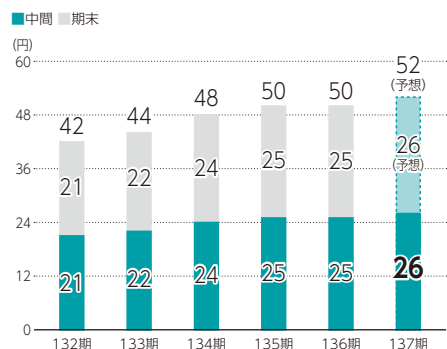
1株当たり配当金

第137期(中間)

第137期(期末予想)

1株当たり 26円 1株当たり 26円

支払開始日: 2026年9月1日



第137期(2026年12月期) 通期連結業績予想

売上高

32,800億円

営業利益

4,000億円

親会社の所有者に
帰属する当期利益

2,890億円



WEB版クボタ通信では、
決算の解説動画をご覧いただけます。

最新の決算情報についてはこちら

<https://www.kubota.co.jp/ir/financial/presentation/index.html>



環境課題を、資源循環の力に変える PFAS分解から始まるクボタの挑戦

私たちの生活や産業を長く支えてきた化学物質「PFAS」（有機フッ素化合物）。自然界で分解されないことから、近年は、人体や環境への影響が懸念され、各国で規制強化が進んでいます。しかしながら、PFASを安全に無害化するには高温焼却が必要とされ、処理できる施設が少ないのが現状です。クボタはこのたび、PFASのうちPFOS、PFOA、PFNAの3種類を対象に、溶融分離技術による分解処理の実証試験を実施し、いずれも国際的に環境上適正とされる 99.999%以上を達成しました。

今回の特集では、この難解な課題にどのように挑んだのか、実証に至るまでの現場での苦労、そして資源循環の未来に向けた想いを紹介します。

INTERVIEW

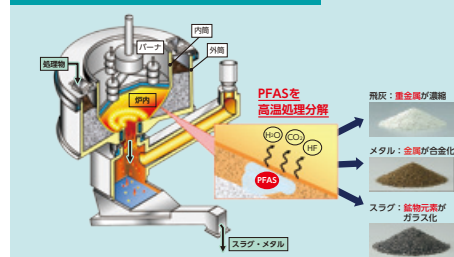


水環境カンパニー 水環境総合研究所
水環境研究開発第一部 宝正史樹さん(左) 平戸康雅さん(右)

思いがけない相談から開かれたPFAS分解実証への道

今回の実証は、米国グループ会社からの相談をきっかけに動き出しました。研究部門では、以前からPFASへの問題意識を持っていましたが、当時は水処理の課題として捉えられていました。そうした中で寄せられた「PFASを含む汚泥を、クボタの溶融炉で処理できないか」という相談は思いがけないものでしたが、溶融分離技術を活かすると確信し、大きく舵を切って社内調整を進めました。「営業部門は、お客様に近い目線で変化を肌で感じています。だからこそ、現地の声に向き合う必要があると感じました。」と宝正さんは語ります。

クボタの溶融分離技術



クボタの溶融分離技術では、廃棄物内に含まれるPFASの炭素とフッ素結合を高温で分解できることが見込まれます。また、溶融物を冷却してできたスラグからはメタル（貴金属）や農業用肥料の原料となるリンが資源として回収でき、廃棄物に含まれる重金属は、炉内の高温で揮散して排ガスに移行し、濃縮した飛灰として回収できます。この飛灰も含めて、廃棄物の状態では利用が難しかった資源を循環させることができます。

【PFASとは?】

PFASは、撥水・撥油性を持つ特性から、フライパンのコーティングといった撥水加工や、消火剤、食品包装材など、あらゆる産業や生活用品に使用され、生活の便利さを支えてきました。



実証を支えた現場の苦労と粘り

PFASを分解できることを科学的に証明し、実証結果として示すために、解決しなくてはならないハードルが多くありました。最初に直面したのは、実証試料の確保です。製造・輸入が禁止されている物質のため、簡単に入手することはできません。調達できそうな会社1社1社へ、実証の社会的意義を丁寧に説明した結果、1社から協力を得ることができました。また、実証では、経験のない米国環境保護庁の定める分析法に基づき精密なデータを示す必要がありました。さらに対応できる分析機関は国内でわずかであり、米国から専門人材の協力も要請するなど、分析体制の調整にも労力を要しました。実証の背景には、担当者たちの粘り強さと苦労があったのです。



中央制御室
炉内の溶融状態をリアルタイムで可視化し、廃棄物の投入量を調整することで、確実な燃焼と溶融を維持

長年培った技術が、新たな課題解決の糸口に

「新しい設備を一から作るのではなく、既存溶融炉の通常運転条件でPFASを高い分解効率で分解できた点が、一番大きな成果でした。クボタは50年以上にわたり、ダイオキシン問題や、不法投棄廃棄物の処理、放射性セシウム汚染廃棄物の減容化などの環境問題に向き合いながら、溶融分離技術を発展させてきました。今回の実証では、これまでクボタの技術者たちが培ってきた技術と経験が実証の成功につながったと思います。」と平戸さんは力を込めます。その言葉には、達成困難な社会課題にも真摯に向き合い、挑戦し続けてきたクボタのDNAが表れています。

資源循環の未来へ クボタの意気込み

今回の実証は、PFASを高効率で分解できる可能性を示したわけではありません。有害物質をただ処理するだけでなく、価値ある資源へ変える。クボタがめざす資源循環の未来はそこにあります。

「処理できないから仕方がない、で終わらせたくありません。今回の成果はゴールではなく、社会実装に向けたスタートです。将来の世代へ負の遺産を残さず、廃棄物を資源として循環させる社会を実現したいです。」と平戸さん、「日本や米国など、先進国だけでなく、廃棄物問題が深刻な新興国にも広げていきたい。」と宝正さんは今後の意気込みを語ってくれました。



炉内(左)でドロドロに溶かされた廃棄物は、スラグやメタルなどに分離され新たな資源として生まれ変わる(右)

WEB版クボタ通信では、
動画コメントや、さらに詳しい
情報を掲載しています！

特集 ②

農業は地球からの宿題だ KUBOTA AGRI FRONTでその答えを探してみませんか

2023年、北海道ボールパークFビレッジ(北広島市)の一角に「食と農の未来を志向する仲間づくり」をコンセプトにした、子どもから大人まで楽しめる農業学習施設「KUBOTA AGRI FRONT」を開業しました。

世界の人口増加や環境問題、日本の就農人口の減少など、「食と農業」を取り巻く課題を、農業シミュレーションゲームや最先端の栽培施設などを通じて一緒に考えてみませんか?本特集では、施設を運営するスタッフの熱い思いをお伝えします。

INTERVIEW



KESG推進ユニット KESG推進部
北海道ボールパーク推進課
野上哲也さん(左) 石井裕樹さん(右)

食と農業の未来を“自分ごと”にする、来場者との接点づくり

開業して3年、来場者数はのべ26万人と順調に推移しています。しかしながら開業当初は、特に一般層への施設認知が期待どおりに進まなかった一面があり、「Fビレッジに来られる方は野球観戦者が多数です。建物が目に留まっても、“農業学習施設”という言葉から学生向け施設と思われ、見学までつながらないことが多くありました。」と野上さんは振り返ります。そこで、楽しそう、行ってみたいと思えるイベントを企画しSNSなどで発信することで、来場を促す取り組みが始まりました。「イベント運営の経験はありませんでしたが、レストラン、農家、大学など多くの方が協力してくださいました。そのおかげで多くのお客様にご参加いただき、好評を得てリピーターとして足を運んでくださる方も増えています。」とイベント担当の石井さんは、パートナーとの連携の大切さを語ってくれました。

来場者の声から見えてきた、食と農業への希望

近隣農家の方が多く来場された際には、「農業にスポットを当てたこのような施設を作ってくれてありがとう」という声のほか、自治体の担当者からは「わが町にも建ててください」といった願いをいただくこともありました。今では多くの学校団体が来場しており、ある高等学校の校長先生からは「この施設は、全国の高校生が訪れるべきだ」という声もいただきました。取材時に来場されていた中学校の生徒さんも、「農業は楽しそう」「農業がこんなに変わっているのにびっくりしました」と農業への関心を示してくれ、「お米一粒まで大切に食べたい」「将来は農家さんになりたい」といった声も日々届きます。「来場者の声はこの施設の意義を改めて感じさせてくれ、励みになります。」と野上さん。

来場者の世代や農業への関わりはそれぞれ異なりますが、食や農業に関する課題をしっかりと意識できる場がKUBOTA AGRI FRONTです。



見学の最後には、学んだこと、感じたことを振り返る

人や地域をつなぎ、広がる仲間づくりの輪

「この3年を振り返ると、私たちの取り組みは間違っていなかったと感じています。地域・学校・農家・企業など、多くの仲間を作ることができたことが一番の成果です。今後は、単なる学習施設にとどまらず、さまざまなステークホルダーが交わる場所として、新たなイノベーションを起こす起点にしたいです。」と野上さん。2028年にはFビレッジに隣接する新駅の開業が決定しており、さらなる発展が期待されます。北海道を訪れた際は、ぜひKUBOTA AGRI FRONTへお立ち寄りください。ここから広がる仲間づくりの輪に加わり、ともに「食と農業」の未来を考えてみませんか。

食と農業の今を学び、 見学スタート



食卓の向こうにある世界を知る



農業経営ゲームに挑戦



最新の農業技術を見学

「地球からの宿題」
に
向き
合
い
行
動
を
変
え
て
い
こう!

WEB版クボタ通信では、
見学ツアーの全行程や、
動画コメントを
掲載しています!

RECOMMEND

KUBOTA AGRI FRONT CAFE



営業時間：10:00～17:00
(16:30ラストオーダー)

北海道産の食材や、施設内で栽培された野菜を活かしたメニューがあり、大きな窓からエスコンフィールドを眺めながら食事ができます。



一番人気のスープカレー。
野菜の甘みが引き立ち、
ファンも多い。

SPECIAL NEWS

クボタ通信をご覧の株主様へ 特別キャンペーン! 施設見学 (AGRI FRONTコース) 無料ご招待

条件	クボタ通信(紙冊子)を受付スタッフにご提示ください。 (※写真などデータのご提示は対象外となります。)
対象	株主ご本人様を含む4名様迄無料 (※5名以上は通常料金:300円/人 となります。)
期間	2027年3月31日まで



KUBOTA AGRI FRONT
公式HP

マルシェや
ワークショップなど
開催予定!

近日開催のイベント

【KUBOTA AGRI FRONT】
住 所：北広島市Fビレッジ8番地
営業時間：10:00～18:00
(休館日：毎週月曜日)

2026年9月26日(土)27日(日)
[KUBOTA presents AGRI WEEK]

年会費無料!

For Earth, For Life
くろはた

クボタのことを、もっと知っていただくために

「クボタ株主クラブ」にぜひご入会(※)ください!

クボタ株主クラブとは、株式会社クボタの株主様へ情報発信を行う**年会費無料**の専用サイトです。
入会いただくことで、さまざまな特典を受けることができます。

クボタ株主クラブ 入会のメリット

毎月のニュースレター配信



クボタの工場、関連施設 見学ツアーなどへのご招待



「クボタベっぴんふぁーむ」 取扱商品の特別販売



クボタスピアーズ 試合観戦チケット等の優待



「クボタ株主クラブ」は、三井住友信託銀行(株)が提供する「株主パスポート」とは異なるサービスです。

「株主パスポート」については、本資料に同封のご案内をご覧ください。

ご入会はこちらから <https://shareholders.kubota.co.jp/>



株主番号の確認方法

クボタ株主クラブのご入会には、**株主番号が必要です。**
本資料に同封の「配当金計算書」
からご確認ください。

配当金 計算書			
所有株数	1株あたり配当金	配当金額	税額合計
株	円	円	円
			支払金額 円
000-0000 大阪市北区大深町5番54号 クラングリーン大阪南館パークタワー 久保田 太郎 様			
			株式会社クボタ

「配当金計算書」の右上に
記載された9桁の数字

※毎年6月末・12月末時点で、当社株式
を1単元(100株)以上保有されている
株主様が対象です。

大切なお願い 安全・確実! 配当金の口座振込にご協力をお願いします

毎年、配当金領収証(郵便局等でのお受け取り)の期間内でお受け取りのない方々が多く発生しています。
当社では、安全・確実に配当金をお受け取りいただける**口座振込への変更をお奨めしています。**
お手続きがまだの株主様は、口座振込への変更(以下の1、2いずれか)をぜひご確認ください。

1 証券口座でのお受け取り

各証券会社の証券口座で受け取る方法

2 銀行口座等でのお受け取り

ご指定の金融機関口座で受け取る方法
(個別銘柄ごとのご指定も可能)

お手続き方法

- 当社の株式を**証券口座**に預けている株主様
お取引のある証券会社にお問合せください。
- 上記以外の株主様
三井住友信託銀行(株)証券代行部にお問合せください。
Tel 0120-782-031
(受付時間 午前9時~午後5時、土日休日を除く)

❗ お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなります。

抽選で500円分のギフト券を進呈!

株主アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

<https://koekiku.jp>

アクセスキー ●●●●

サービス運営会社: 株式会社プロネクサス
お問い合わせ: コエキク事務局 koekiku@pronexus.co.jp

UD
FONT